

なでしこ通信 第 41 号

《隔月発行》

— 目 次 —

- ★日本の伝統的な子育てを取り戻そう
明星大学教授 高橋 史朗
- ★「従軍慰安婦」問題に大きな転機
- ★ワクチン待って！
- ☆事務局から

日本の伝統的な子育てを取り戻そう ■ □

～家族の絆・人づくりの基～

感性・脳科学教育研究会会長／明星大学教授 高橋 史朗

■なぜ今、脳科学なのか

子供の発達を考える上で、脳科学の必要性が高まっています。その理由は、子供の脳に大きな変化が起きているからです。専門家は脳内汚染と呼んでいます。地球環境の破壊と同じように、子供の脳の汚染が進んでいるというのです。子供の脳内汚染の主な原因は、基本的な生活習慣の乱れです。1つは睡眠の乱れ、2つ目は食生活の乱れ、3つ目はテレビゲームやインターネットなど、子供を取り巻く環境の変化です。

子供の脳が汚染されることによる問題点は、共感性と自制心の欠如が挙げられます。これは最近の子供たちの共通点であり、相次ぐ凶悪事件を起こした少年たちの共通点でもあります。家庭において父性と母性の働きがないためです。

いじめ問題も、愛着が欠落しているために共感性が育っていないことがいじめの心理的背景になっていると言えます。大きくなってから事件が起きているわけですが、基本的な問題は胎児や乳幼児期に起きているのです。脳科学の知見に基づき、子供の脳の発達段階

に応じて、親がどうかかわるべきかを伝えていかなければいけないと思っています。日本の教育を再生させるためには、胎児期、乳児期、幼児期の家庭教育に焦点を向けなければなりません。

私の教え子が1年間で3人も小学校教員をやめました。このうちの1人に話を聞くと、「担任をしている35人の子供のうち、7人が発達障害の子供だった」と言うのです。LD（学習障害）やADHD（注意欠陥・多動性障害）、自閉症などの子供が2割いたわけです。1人を注意していたら、他の子供が動き始めてしまうのです。昭和40年ごろは発達障害の子供は1万人に1人、つまり0.01%でしたが、現在では小学校で2割近くいるわけです。この40年間で大きな変化が起きています。

■教育の第一義的責任は親にある

渡辺京二著『逝きし世の面影』（平凡社ライブラリー）では、江戸末期に来日した欧米人たちの多くが、日本は「子どもの楽園」と表現し、「世界の中で、両親を敬愛し老年者を尊敬すること、日本の子供に如くものはない」「日本の子供ほど行儀よく親切な子供はいない」とあります。礼節をそなえた子供たちが今、日本から消えてしまったのはなぜか。著者は、「それはこの子達をそのように育てた親たちがどこへ消えたのかと問うことと等しい」と指摘しています。日本の子供の礼儀が正しかったのは、江戸町方で組織されていた江戸講や寺子屋などで、親と地域が一体となって「江戸しぐさ」を伝えてきたからです。多くの子供たちが自然に礼儀作法やマナーを身につけていたのです。

あるシンポジウムで東大の先生と論争になりました。私は教育の第一義的責任は家庭にあり、親にあるということをもっと言わなければならないと考えていますが、その先生は、親が子供に価値観を強制する家庭教育という考え方は間違っているという考えでした。さらに、育児の社会化こそが必要であり、親が子供を家庭で教育するのは危険が伴うというのです。

かつて、明治31年に埼玉県幡羅高等小学校で親に配られた「家庭心得」には「教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る」と書かれています。この言葉は、昔から言われてきた日本の諺です。

イギリスやフランスでは親が教育義務に違反すると、禁固刑や罰金を科しています。アメリカ合衆国では、不登校の定義に親の教育怠慢ということが明記されており、子供が理由もなく学校を休むと1日20ドルの罰金が科せられます。法律で定めなければならないほど親心が衰退しているとも言えますが、親の責任は明確にしています。

■伝統的な子育ての創造的発見

昔から日本人が当たり前に行ってきた伝統的な子育てや普通の環境を取り戻すことが発達障害の予防になるといわれます。その方法に3つあり、1番目は豊かな言葉掛けで、目を見て話す。2番目は笑い、「いない、いない、ばあー」などのあやしです。3番目は「たかい、たかい」などのリズムのある運動です。

日本人は「三つ子の魂百まで」と言い、「三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる」という江戸時代の格言もあります。子供の発達段階に応じて何が必要なのかを語り継いできましたが、発達心理学や脳科学の最新の科学的知見によって、日本の伝統的な子育ての意義が創造的に再発見されているのです。

(『脳科学から見た日本の伝統的子育て』より抜粋)

■□「従軍慰安婦」問題に大きな転機

～韓国で運動団体幹部を詐欺容疑で摘発～

■「従軍慰安婦」とは

「従軍慰安婦」とは、日本軍に拉致され軍慰安所で性奴隷として働かされたと称する朝鮮の女性のこと。男女共同参画運動家たちは日本社会の女性差別・虐待の典型例と見なし、この問題を運動の拡大に利用した。

■「従軍慰安婦」問題の歴史的経過

1991年12月に、従軍慰安婦だったと称する韓国女性が補償を要求して日本の裁判所に提訴した。その直後(1992年1月)に宮沢喜一首相(当時)は訪韓したが、訪韓の5日前に朝日新聞はあたかも「日本軍が強制連行に関与した証拠」が見つかったかのように報道した。この報道は誤りだったが、調査する時間的余裕のなかった宮沢首相は韓国大統領に平謝りに謝った。こうして、「従軍慰安婦」問題は日韓の最大の外交課題になり、翌年河野洋平官房長官(当時)は軍の強制を認めた談話を発表した。そのため教科書にも記述されるに至った。

1996年に国連人権委員会に提出された「クマラスワミ報告」は、慰安婦を「性奴隷」と呼び、その人権侵害に対して日本政府が賠償と関係者の処罰を行うよう提言した。

しかし、その後研究・調査が進んで、軍の拉致・連行は事実無根と判明し、今では「従軍慰安婦」の記述は教科書から削除されている。ところが、日本人にとっては既に落ち着いたはずの「従軍慰安婦」問題について 2007 年に米国下院が日本非難決議を行い、他にも追随する国があつて、日本は悪い国という烙印を押され、面目を失った。

■仕掛けたのは日本人

問題の発端は、1989 年にある日本人が韓国に行って、日本政府から賠償金を取る裁判の原告になる元軍人・軍属の死傷者と家族、元慰安婦を募集したことにある。それに応じたのが、当時太平洋戦争犠牲者遺族会の理事長だった梁順任（女性）だ。そこから補償請求運動が始まり、日本人弁護士や政治家が日本側の支援の中心になった。そしてとうとう 1991 年 12 月に日本の裁判所に補償を求める提訴がされた。原告は金学順ら元慰安婦三人や梁順任ら。朝日新聞がこの提訴を大々的に報じ、上記のように、翌年 1 月に訪韓した宮沢喜一首相（当時）は事実を確認しないまま謝罪した。

■韓国で運動団体幹部らを詐欺容疑で摘発

「ソウル市警察当局はこのほど、日本統治時代の戦時動員被害者に対し、日本政府などから補償金を受け取ってやるといって弁護士費用などの名目で会費 15 億ウォン（約 1 億 2 千万円）をだまし取っていた団体幹部ら 39 人を、詐欺の疑いで摘発したと発表した。被害者は 3 万人に上る。

摘発されたのは「太平洋戦争犠牲者遺族会」「民間請求権訴訟団」など対日要求や反日集会・デモを展開してきた団体。古くからの活動家で日本でも知られる梁順任・遺族会会長にも容疑が向けられており、対日補償要求運動にブレーキがかかりそうだ。」（5 月 9 日付産経新聞）

米国下院にも不当決議を撤回する再決議を要求したいものだ。なお、詳細については、西岡力氏の解説（正論 2011 年 8 月号、本会 HP の「報告・お知らせ」の欄に掲載）をご参照ください。

ワクチン待って！ ■ □

今治市の会員、渡辺伸吾さんより以下のご報告がございました。

子宮頸がんワクチン接種の予診票引換券が高校生の娘に届く。「接種を希望する対象者の方は無料で受けられます」。裏面には「効果とリスクを勘案し、希望する方のみ接種してください」と書

いてある。

今治市健康推進課に電話した。

渡辺氏■「効果とリスクとは何か。たった一枚のハガキでこれだけではわからないではないか」

担当者●「市の広報で説明している」

■「合併前のしまなみの市町村の町内新聞なら読んでいたが、しまなみのことがほとんど掲載されない合併後の市の広報などほとんど読む者はいない」

●「ホームページで掲載している」

■「このしまなみの田舎でネットを探索したりパソコンを使う人間が何人いるか。大半の者が行政が推進しているからか、無料の魅力に惹かれ、実態についてはわかっていないのが現実だ」

●「私どもとしては希望する方のみ接種を勧めています」

■「昨年7月の厚生科学審議会は費用対効果について現時点での正確な評価は難しいと資料をまとめているのを知っているか。今治市の市議員有志が勉強会を開き、そこへ医師会と薬品会社が連れ立って説明したが、リスクについてほとんど説明せず、小学生中学生でも性交渉するからワクチン接種をするべきだと述べている。これでは年少者に性交渉を勧めていると思われかねない。そもそも医師会と薬品会社が何故同席するのか、癒着と疑われても仕方がないではないか。これについて知っているか」

●「知っています」

■「行政は広報でネットで開いている。希望する方のみで後は知らん顔だ。これでいいのか。では聞く。貴兄に娘がいてこの娘に接種を勧めるか」

●「お答えしかねます」

■「欧米では早くから危険性を指摘されているが、我が国では政官業医民あげて推進し、しかも凄まじい異常な営業的運動である。何故かくも急ぐのか」

●「いろいろ勉強します。お父様のような詳しい方ばかりだとこちらも張り合いがあるのですが」

■「国において有効性、効果の持続性について調査検討がなされておりと言っているだけで安全性について国が調査しているとは言っていないのだ。かつて世間を騒がした薬害エイズの構図と一緒にではないか」

●「… 賛否両論あるのは知っています。私どもとしては賛否両論あるので希望するかたのみ接種を勧めています。これからも勉強させていただきます」

■「予診票引換券と広報も一緒に送付すべきではないか。しかも広報にも賛否両論あることをもっと詳しく書くべきだ」

●「お金がかかる」

■「ふざけたことを言うな。ワクチン接種にどれくらいの金が動くのか！今治市の高校生全員に送付するなどたかがしれている。めんどうなだけだ。未来をしょってたつ若者の将来はどうなるのだ」

いかにも役人らしい答えをするのみでした。

■■■■ 事務局から ■■■■

◆40 号の十亀興美宮司様の巻頭言「母なるもの いのちを伝える要」には、感動したというご趣旨のご感想を多くの方から頂戴いたしました。

◆大阪市西淀川区で小学 2 年生の男児が継父に虐待され亡くなっています。「義理の親と一緒に暮らしている子供が、親（特に義理の父親）に殺される割合は、実の両親と暮らしている子供の 50 倍になる」という調査結果が『独身者は損をしている』（エドワーズ博美他訳・明成社）に紹介されております。何とも痛ましい限りでございます。

◆年会費（1000 円以上）の切れる方に払込取扱票を同封しております。1000 名を目指しております。現在 767 名でございます。よろしくお願い申し上げます。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井 美智子

〒790-0931 松山市西石井 1-3-30

ホームページ <http://www.mezasukai.com/> 電話 090-8971-7721 FAX 089-964-3903

メール michikoaoi25@yahoo.co.jp (件名を明記してください)